

〈ご参考〉



GMO REPORT 2018

**2018年12月期
決算報告**

連結業績ダイジェスト

▼ 2018年12月期の実績

売上高・営業利益ともに過去最高業績を更新。
最終損失を計上しながらも、財務基盤は強化。

(億円)	2017年 実績	2018年 実績	前期比
売上高	1,542	1,851	+20.0%
営業利益	176.4	217.8	+23.5%
経常利益	173.1	191.3	+10.5%
最終利益	80.3	▲207.0	—

▼ 業績予想

2019年度は、為替や株式、仮想通貨など市場環境の影響を受ける複数の事業について合理的な見通しが困難であることから、業績予想は非開示といたします。インターネットインフラ事業、インターネット金融事業を柱とし、今後も成長を続けてまいります。

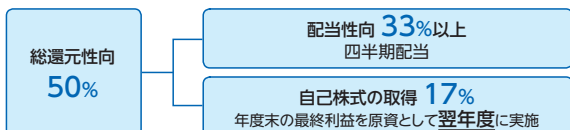
▼ 配当予想

2018年度の期末配当は、「配当性向33%以上」を基本とする従来の方針により、1株当たり**11.8円**とさせていただきます。これにより年間配当額は同**29.5円**となりました。

(円)		1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額
2016年	増配	—	—	—	1	1
	普通配	5	5	5	5	
2017年	普通配	5	6	6	6	23
2018年	普通配	6	6.2	5.5	11.8	29.5

▼ 総還元性向

当社は「総還元性向50%」を株主還元の目標とし、最終利益の50%から配当総額を引いた金額で自己株式を取得する方針です。当社は「総還元性向50%」という基本方針に基づき、最終利益の33%以上を配当、残りの約17%を原資とした自己株式の取得を実施しております。



▼ 自己株式の取得

2019年は、31.1億円、250万株を上限とした自己株式の取得を2019年2月13日から12月30日までに実施する予定です。

スポーツ支援の取組み

GMO ATHLETES

GMOインターネットグループは、『世界に通用するNo.1アスリートの育成』を目標に、男子陸上長距離を主な種目とした「GMOアスリート」を創設いたしました。スポーツの支援を通じて多くの方の笑顔・感動を創造してまいります。今後の選手の活躍にご期待ください。

山岸
宏貴倉田
翔平三木
啓貴渡邊
利典橋本
峻一色
恭志下田
裕太監督
花田勝彦

1971年生まれ。滋賀県出身。陸上競技（長距離走・マラソン）元選手。